

根羽村・林業の三ライ合宿

～山の暮らしを楽しむ人々に学ぶ～

SUMMER CAMP 2023

矢作川最上流部の長野県 根羽村で、

- ・ 根羽村の林業、森林空間の活用
- ・ 地元の方、移住者にとっての森
- ・ 伐採、木材加工の現場見学
- ・ 建築と林業の連携

について学びます！



間伐体験も！



森林、林業に興味がある！
林業と建築のかかわりって？
山村に移住したい！

日程： 2023年9月1日（金）10時～
2日（土）～16時



参加者

学生

信州大学：
石原隆太 川崎海斗 佐竹寅次郎 牧野純怜 渡邊美里

岐阜大学：
河野純也 鈴木智子

人間環境大学：
石原萌花 伊藤汰晟 中西弥沙 三宅清音 渡邊昭政

名古屋市立大学：
細谷雪野

サポーター

嵐 祐介 アジア航測株式会社
江口則和 人間環境大学
桑山 久 桑山工務店
近藤 朗 中部流域圏ネットワーク
佐治真紀 もりりん'ず
鈴木建一 森と子供未来会議
筒井千遥 アジア航測株式会社
東海林修 東海林建築設計事務所
東海林大貴
三ツ松由有子 地域の未来・志援センター
谷地俊二 人間環境大学

対応：根羽村

浅井孝太 根羽村森林組合
山本英介 根羽村森林組合
西川彩花 根羽村地域おこし協力隊
魚住奈津子 根羽村役場住民課
平松綾乃 根羽村役場振興課

間伐体験指導：
山本 徹 根羽村森林組合
竹村隆志 根羽村森林組合

地域史講演：
片桐亀十さん

村民インタビュー対応：
片桐康雄さん
浅井和子さん
片桐タミ子さん
西尾竹司さん
石原みちゑさん

合宿の目的：

木材の生産者とユーザーのつながりや、林業と地域社会との関係について学び考える場を林業や建築を学ぶ学生やその関係者に提供すること。

テーマと内容：

1日目：「木材がどうやって作られ、どのように使われるのか学ぶ。」 ← 学生さんからの要望

- ・ 根羽村森林組合の日々の仕事 製材所見学 間伐体験
- ・ トークセッション「板倉構法とこれからの木材流通について考える」

2日目：「林業と山村地域の関わりについて考える。」 ← 私たち（根羽村）からの提案

- ・ 根羽村の年配の方々との交流会 ~生業としての林業の姿を知る~
- ・ 振り返り 気づいたこと 学んだこと の発表

村民への声かけ

林業の未来を学生と考えよう!

根羽村・林業のミライ トークセッション

～板倉構法とこれからの木材流通について～

9月1日(金) 18:00～20:00
グリーンハウス森沢にて

予約不要
参加無料

矢作川最上流部の里山、根羽村は
森林面積7割を占める日本の中でも、
92%の森林率、うち人工林率73%
ほぼ全世界が山持ちという中山間地域。
木材価格の低迷の中で、都市部でも森林
の持つ様々な働きが見直され、木材利用
を推進しようという動きが各地で起こっ
ています。現在の木材流通と、目指した
い木材流通の在り方や手段について、根
羽村の基幹産業であり続けてきた林業の
今とこれからの学生と学び、語ります。

ゲストスピーカー
東海林修(東海林建築設計事務所)
鈴木建一(森と子ども未来会議発起人)



9/2(土)
13～15
しゃくなげ
ホール

参加費無料

信州大学を中心に、学生たちが里山暮らしの歴史を学ぶためにねばに集います。東西南北中央、五つの洞へ有志の方のご自宅へインタビューに伺った後、しゃくなげで発表します。ぜひ聴講や交流にお運びください。 ※途中参加・退室自由

同時募集

予約不要

当日参加OK

学生さんにご自宅で昔の暮らしについてお話しを聞かせて下さる方を募集しています(林業・農業・猟・子育て・お祭り・趣味など)

日時: 九月二日 11～12時頃

根羽里山歴史発表会

林業未来合宿二日目



1日目：

「木材がどうやって作られ、どのように使われるのか学ぶ。」

製材所見学・間伐体験





トークセッション「板倉構法とこれからの木材流通について考える」



2日目：

「林業と山村地域の関わりについて考える。」

片桐亀十さん 地域史講演



村民インタビュー



全体の振り返り・発表



各班のテーマ

- ・ 木、森の魅力を伝えるには？
- ・ 林業への関心を高めるには？
- ・ 移住者位置付けは？
- ・ 自分の住んでいる街と
農山村の違いは何？
- ・ 森林でお金を生むには？

→ 詳細は学生さんの報告書で！

林業どうう活性化 根羽で探る

信大生ら、間伐体験や住民と意見交換

信州大農学部（南箕輪村）

などの学生有志13人が2日間で2日間、根羽村で林業の課題の聞き取りなどを行った。同学部4年の佐竹寅次郎さん（22）らが、循環資源として木材の普及を目指す活動の一環として企画。衰退する林業の活性化策について考えようと、住民と意見交換もし

た。

学生たちは1日、根羽村森林組合の協力で製材所を見学したり、間伐を体験したりした。2日午前には林業に従事していた地域の年配者に学生が取材。「離村した若者が戻らず、林業の後継者が不足している」「林業だけで十分な生計が立てられず、将来も続か不安」などの課題を聞いた。

同日午後に学生や地元住民らが集まって意見を交換。学生たちは「村民だけでなく都会の人とも課題を共有すべきでは」「木材の魅力を伝えるため、木造の公共施設を増やすのはどうか」などと意見を出し合った。学生の受け入れに対応した根羽村森林組合の山本英介さん（47）は「参加者だけでなく、村民の視野も広がるよう、今後も交流を盛んにしていきたい」と話した。



地域住民と意見交換した学生たち

「関心を持つこと」について

～ミライ合宿をとおして考えたこと

人の己を知らざるを患えず、人を知らざるを患う